



地力増進法 政令指定 土壤改良資材

芝地
専用

EB-a



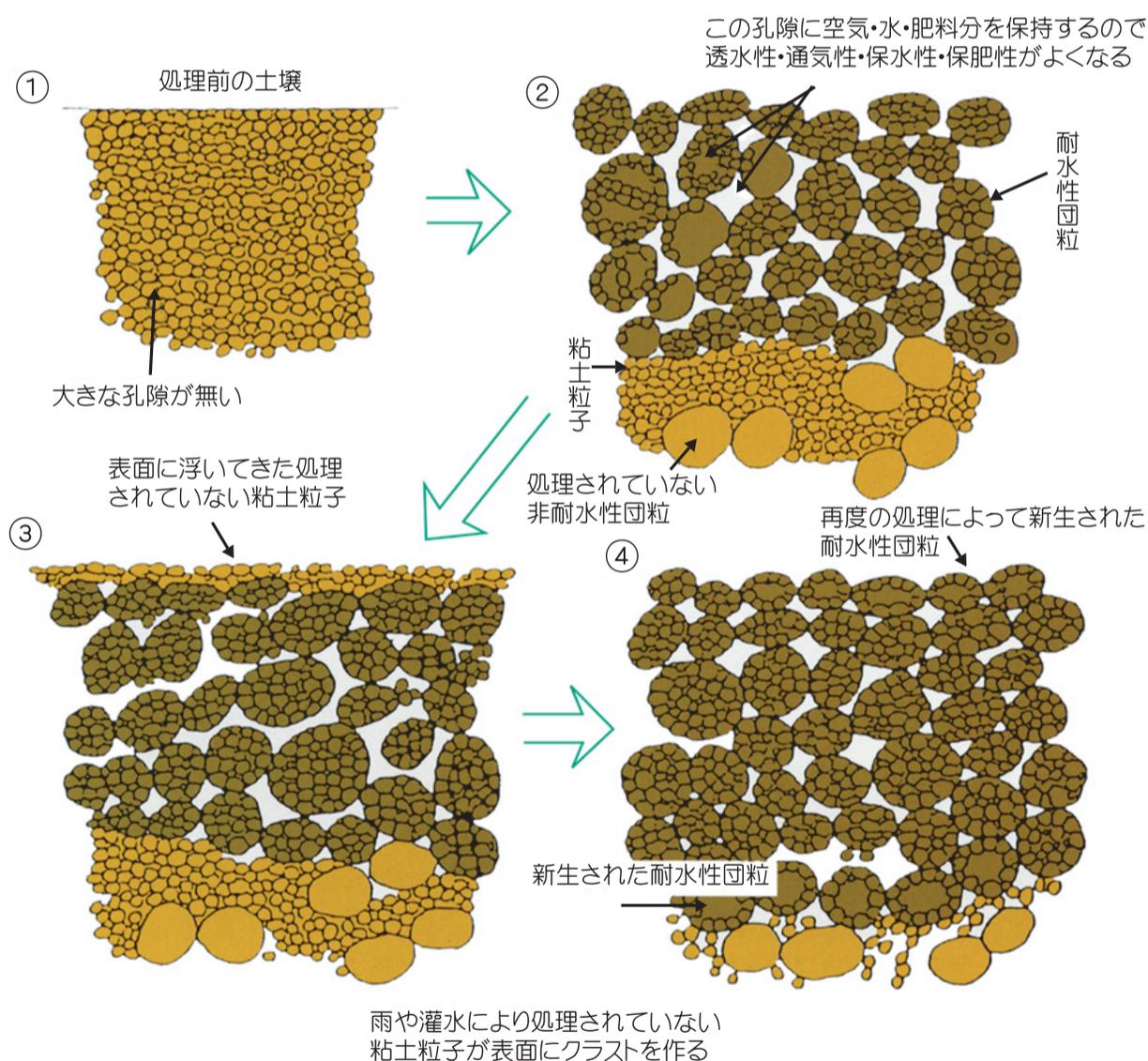
林化学工業株式会社
Hayashi Chemical Industry Co., Ltd.

EB-aの土壤改良効果

- 透水・通気・保水・保肥・膨軟性を著しく増加します。
- 優れた発根作用で活着と根張りを促進します。
- 乾燥や過湿から芝生を守り、健全なターフが甦ります。

EB-aの持つプラスイオンと、粘土・シルトが表面に持つマイナスイオンが瞬間的に結合しますので、粘土質土壌から砂質土壌まで、あらゆる土壌から理想の耕土を作り出します。

EB-a 処理後の土壌の変化



成分および性状

種類	ポリエチレンジイミン系資材
外観	ほぼ透明な無色粘稠液
主成分	アクリル酸・メタクリル酸ジメチルアミノエチル共重合物のマグネシウム塩とポリエチレンジイミンとの複合体
粘度	3,000~9,000mPa・s (25℃)
pH	5 ~ 7
溶解性	水と任意の割合で混合できる

EB-a の使用方法

● グリーン

床土に含有している、又、混入してくる粘土、シルトを団粒化し、透水、通気、保水性を維持するとともに、踏圧により、低下しがちになる根系の活性を向上させ、生育を促します。また保水性向上により灌水効率が高まります。

土壤微生物群も好気性となり、有効微生物の増加を促し、健全な微生物群を作ります。

1 m²当り標準使用量

使用量	倍率	散布水量
10～20ml	100～200倍	1～2ℓ

リノベーション後にEB-a100～200倍液を散布してください。
散布後、スプリンクラーで散水すると、より深く浸透しますので、一層効果的な土壌改良が行なえます。

● 張 芝

床土の物理性を改善して透水、通気、保水性等を向上するとともに、発根を促し活着を促進するため、環境や病害に対する抵抗性も向上し、使用可能なターフに早く仕上がります。

1 m²当り標準使用量

使用量	倍率	散布水量
10～20ml	100～200倍	1～2ℓ

● バンカー

バンカー砂に含まれている粘土・シルトは、本来バンカー砂が持っているもの、バンカーの底から上がってくるもの、周囲から流入してくるもの等色々ありますが、これらの粘土シルトがバンカー砂を固結したり、水はけを悪くしたりする原因になっています。EB-aはこれらの粘土・シルトを団粒化しバンカーのトラブルを解消します。

(水が浮いている場合は、水が引いてから散布して下さい。)

1 m²当り標準使用量

使用量	倍率	散布水量
10～20ml	100～200倍	1～2ℓ

● カップの切り替え

カップの切替え時、戻した芝がうまく活着しない事がありますが、EB-aを散布すれば、保水性の向上と、発根促進効果で、活着を促進します。

カップ当り標準使用量

使用量	倍率	散布水量
1ml	200倍	0.2ℓ

使用上の注意

(EB-aの溶かし方)

1. まず容器に水を入れ、次によくかきまぜながら、EB-aを入れていきます。
EB-aは、粘度のある液体ですから十分に攪拌して下さい。
2. タンク車等で大量に溶かす場合は、あらかじめ、別の容器(バケツ等)で数倍液にあら溶きしてから所定の濃度に希釈して下さい。
3. 少量の場合には、バケツにあらかじめ少量の水を入れてから、EB-aを加え、あら溶きしてから、残りの水を加えてよく攪拌して下さい。

(EB-aを施用する場合)

1. EB-aは根圏の土壤に確実に行きわたる様に、タツプリと施用して下さい。
2. 芝地の場合は、リノベーションを行ってから施用すると効果的です。
3. 降雨時(降り始め)や、降雨前の施用はEB-aの土壤への浸透を助け、効率よく土壤改良が行なえます。スプリンクラーの設備がある場合、散布後スプリンクラーによる灌水を行なうようにして下さい。
4. 降雨の後で、水が溜まっている場合は、水が引くのを待って施用して下さい。
5. 土壤が固まっている場合は、よくほぐしてからEB-aを施用して下さい。
6. 土壤が乾いている場合は、適度な散水を行ってから(土壤を握り締めした後、バラバラと崩れる程度)EB-aを施用して下さい。

(EB-aと他の資材を併用、混用する場合)

1. グリーンの改造等で床土を改修する場合、肥料や有機・無機系改良材とを併用すると一層効果を高めます。併用する資材と土壤をよく混合してから、EB-aを施用して下さい。
2. 液肥等の資材とは、原液どうしでの混合は避けて下さい。EB-aを充分溶かしたあとで液肥等を加えて、よく混合して下さい。
3. 農薬の水和剤とは混用しないで下さい。水和剤に含まれている増量剤と反応し、タンク内に沈殿したり、ノズルがつまったりする事があります。
4. 液肥や農薬等、他の資材と混用する場合には、あらかじめ、その資材との混和性・効果等を試験のうえ、使用して下さい。

(EB-aを保存する場合)

1. 調整した散布液は保存できません。使用のつど、必要量だけ希釈し、必ずその日のうちに使いきって下さい。
2. EB-aは冷暗所に保存して下さい。開栓後はキャップをしっかり締めて保存して下さい。使い残しのEB-aは早めに使用するようして下さい。



包装 20ℓ入り バッグインボックス



林化学工業株式会社

Hayashi Chemical Industry Co., Ltd.

〒520-3047 滋賀県栗東市手原6丁目200番地1

TEL 077-585-9985 FAX 077-585-9986

取扱店